

中国青島に合弁会社及び新物流センターを設立

山九株式会社（本社：中央区勝どき、代表取締役社長：中村公一）と、中国のニット分野第 2 位の繊維大手企業「青島即発集团股份有限公司（董事長：楊瑋東、以下：即発）」は、中国における物流業務運営会社設立に合意し、両社合弁による新会社「青島捷順利達物流有限公司」設立合弁契約書を締結いたしました。

今後は日本で行われていた検品・検針機能を中国側で実施する他、グローバル・サプライチェーン上の流通作業工程を上流で行う事により、ダイレクト納品、リードタイム短縮に繋がり、トータルコストの削減が可能となります。今回の新会社は、これまでの当社の中国における 8 現地法人と異なり、中方パートナーが製造業であることが特徴です。山九としても中国における作業獲得のみならず、日本での輸入貨物を取り込むことで新しいビジネスモデルの構築を目指します。

尚、今回の新会社設立に伴い新しく物流センターを開設予定です。物流センターは 2014 年 12 月に正式開業（8 月竣工）予定です。

山九グループはこれからもお客様に貢献できるグローバルネットワークを拡充して参ります。

記

会社名称	: 青島捷順利達物流有限公司（日文名称：青島 J S D ロジスティクス）
代表者名	: 張 海雲（即発集团 董事副總經理）
住所	: 中国山東省青島即墨市龍山工業園区内
従業員数	: 当初 60 名（日本人 2 名）
出資比率	: 山九 50%、即発 50%（登録資本：2 百万 USD）
合弁期間	: 20 年間
業務内容	: 一般倉庫、輸送、流通加工（検品・検針・仕分）
倉庫規模	: 敷地面積 19,210 m ² 、倉庫面積 12,600 m ²
開業予定日	: 2014 年 12 月 1 日



新物流センターイメージ図



中村専務取締役

楊瑋東董事長